



背景

○県の重点施策である「スポーツランドみやざき」の更なる推進、合わせて、**県内の屋外型スポーツ競技力の向上など県のスポーツ振興**を目的として、シーガイアオーシャンドーム跡地に、ラグビー、サッカー、陸上、トライアスロン等、県内外場合によっては、国内外のアスリート等の合宿拠点として活用できる「屋外型トレーニングセンター」を整備

現状の課題

- 県内で1～3月に実施されるJリーグ春季キャンプはグラウンド不足により、**8チームのキャンプの申し出を断っている状況**
- 同様に、ラグビー・リーグワンチームからも毎年、秋季（11月頃～）キャンプの申し出が数多く寄せられているが、Jリーグキャンプに向けたグラウンド養生のため、**5チームの受入を断っている**
- 2027年宮崎県で開催予定の第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会に向けた**県内外アスリートの合宿受入による競技力向上**

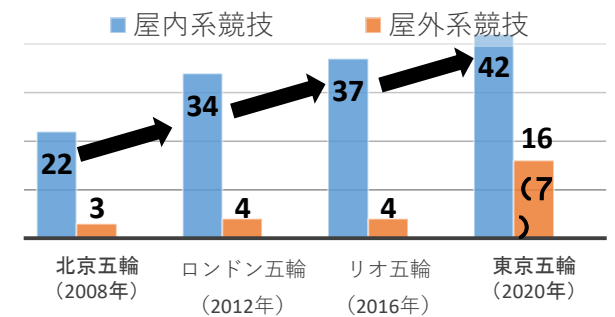
事業の目的

- ①プロチーム等の集積による「スポーツランドみやざき」のブランド力向上
- ②スポーツキャンプ・合宿の全県化、通年化
- ③県内アスリートの利用やプロ等との交流による競技力向上

これまでの取組

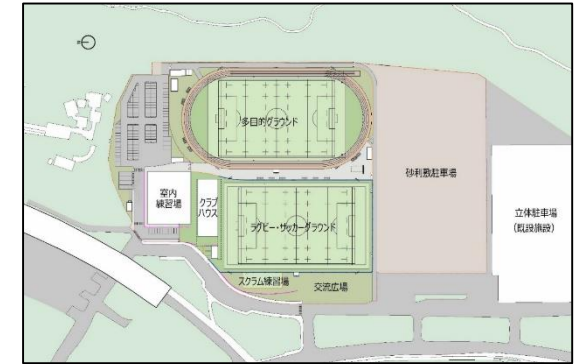
- トライアスロン・ゴルフのNTC競技別強化拠点となっている**シーガイア一帯を中心に日本代表チームを受入**
- プロ野球、Jリーグ、ラグビー・スピードスケート日本代表等を受入**
- 東京オリパラ事前合宿では、**ラグビー7人制男女・フェンシングの日本代表チームを受入（海外の陸上・サッカー・トライアスロンなど12チームも受入）**

○オリンピックにおける日本のメダル獲得数



事業
内容

| 整備施設 | 仕様・設備等 |
|-----------------|---------------------|
| ラグビー、サッカーグラウンド | 天然芝、照明、防球フェンス、AIカメラ |
| 多目的グラウンド | 400mトラック、ハイブリッド芝、照明 |
| 室内練習場 | 約40m×約40m、人工芝、照明 |
| クラブハウス、トレーニングジム | 空調、シャワー室、Wi-Fi等 |

得られる
成果等

- ラグビー日本代表の定着化
- Jリーグ 4チーム以上の新規誘致
- リーグワン 4チーム以上の新規誘致
- 陸上実業団の新規合宿の増
- トリアスロンNTCの機能強化



- 屋外型トレーニングセンター整備による経済効果：3.3億円
 - 周辺市町へのキャンプ・合宿誘致による経済効果：8.5億円
- ⇒約12億円（試算）の経済効果を創出**
- 【参考】令和2年春季キャンプの経済効果 約124億円

寄附を
する
メリット
等

企業に求めるもの等

- 宮崎県でキャンプ・合宿を行うトップアスリートへの支援、バックアップ
- 宮崎県が目指す「スポーツランドみやざき」の更なる推進に向けた企業版ふるさと納税での支援

企業のメリット

- ご支援いただいた企業の皆様のことを、キャンプ・合宿を通じて、チームや関係者、観客へ広く周知
- 地域活性化による社会貢献としてのイメージアップ

企業との連携イメージ

- ネーミングライツの活用
- 指定管理者との連携事業（スポーツ教室の開催やイベント等）

連絡先：宮崎県観光推進課スポーツランド推進室

電話：0985-26-7108

E-mail：sportsland@pref.miyazaki.lg.jp